

沖縄の南の海域で2020年7月の海面水温が 最も高い値を記録

沖縄の南の海面水温は、平年より高い状態が続き、2020年7月の月平均海面水温が30.3℃（速報値）となり、解析値のある1982年以降、7月としては最も高い水温となりました。

1. 沖縄の南の海域の2020年7月の月平均海面水温

沖縄の南の海域（別紙図1黄枠）では、月を通して平年より高い状態が続き、2020年7月の月平均海面水温が30.3℃（速報値）となり、平年差は+1.0℃で、解析値のある1982年以降、7月としては最も高い水温となりました（別紙図2及び表）。

2. 海面水温が高くなった要因

沖縄の南の海域では、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、海面水温が平年よりかなり高くなりました。

3. 今後の見通し

向こう1か月の沖縄の南の海面水温は、平年よりかなり高いでしょう。

海面水温の最新の状況と詳しい見通しは、「海洋の健康診断表 海面水温・海流（沖縄周辺海域）」をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/shindan/f_6/jun_OK/kaiyo_OK.html

問合せ先：沖縄気象台 地球環境・海洋課 担当 本山・古積
電話：098-833-4065 FAX：098-833-4292

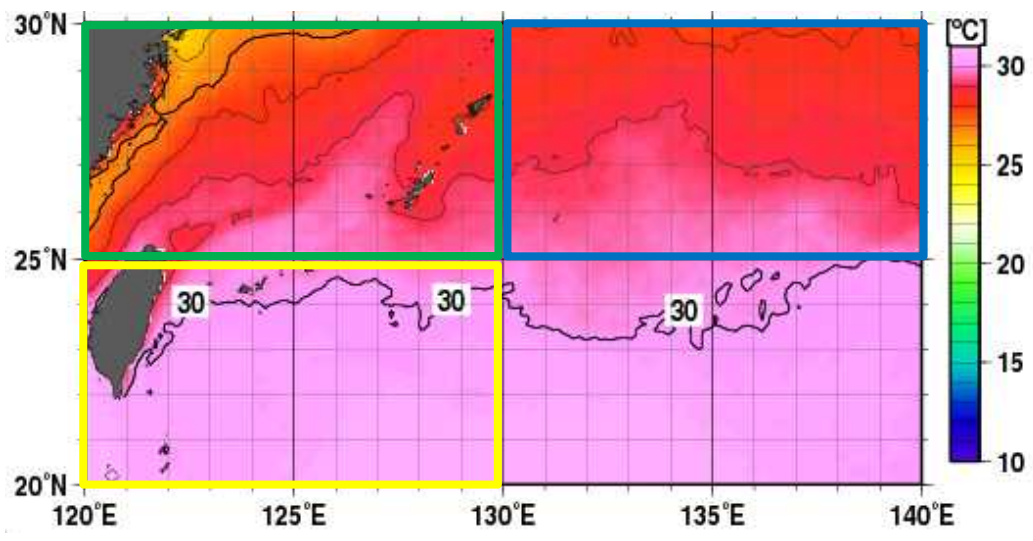


図1：沖縄周辺海域の月平均海面水温分布図(2020年7月)(速報値)
人工衛星とブイ・船舶による観測値から解析された海面水温。図中の緑枠(左上)は「東シナ海南部」、青枠(右上)は「沖縄の東」、黄枠(左下)は「沖縄の南」の海域として海面水温を平均する領域を示します。

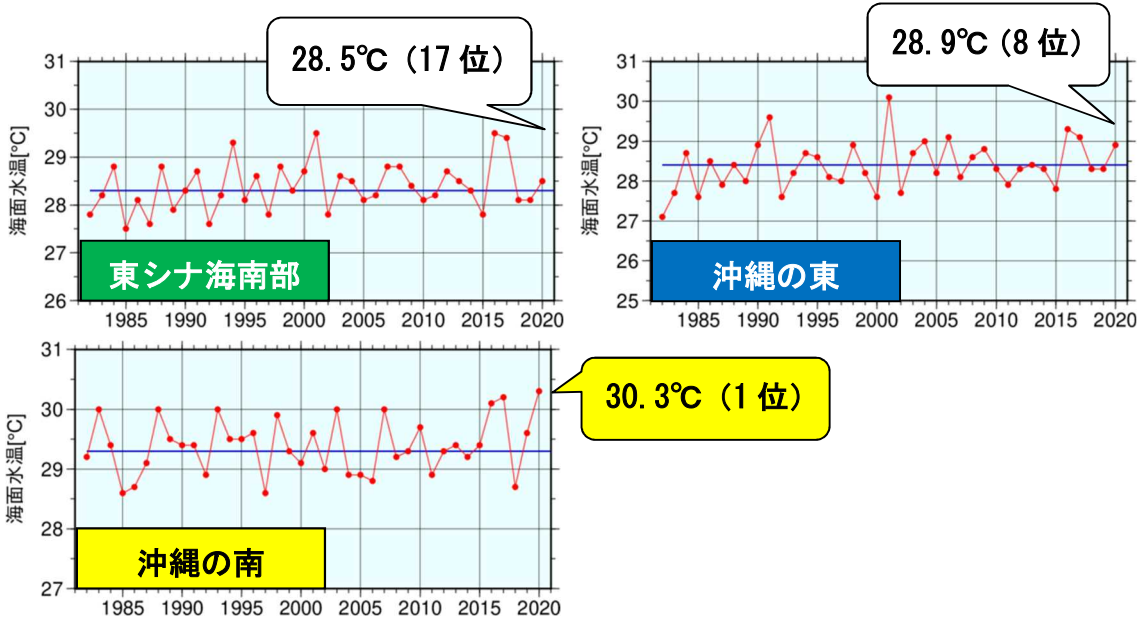


図2：7月の沖縄周辺海域での月平均海面水温の経年変化
青線は平年値(統計期間：1981年～2010年)。2020年の値は速報値(下の表も同じ)。

表：沖縄周辺海域で7月の月平均海面水温が高かった年(上位順)

東シナ海南部			沖縄の東			沖縄の南		
年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)	年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)	年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)
2016	29.5	+1.2	2001	30.1	+1.7	2020	30.3	+1.0
2001	29.5	+1.2	1991	29.6	+1.2	2017	30.2	+0.9
2017	29.4	+1.1	2016	29.3	+0.9	2016	30.1	+0.8